

平成28年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名

事業コード

900502

水道管維持管理事業

担当部課

部課コード

900500

TEL

2921-1082

開始年度

昭和12

年度

→

終了年度

年度

グループ

管理、補修、給水第一、給水第二グループ

②事業の種別

☒ 自治事務

☐ 法定受託事務

☐ 法定受託＋附加

根拠法令

分野別計画・指針

所沢市水道事業長期構想

水道法、所沢市水道事業給水条例

関連・類似事業

導送配水管整備事業(水道建設課)

総合計画の体系

章

街づくり

節

上水道

基本方針

安全な水の安定供給を行います

事業開始の背景

水道水を安定的に供給するため、漏水事故への早期対応はもとより、断水、濁水及び道路陥没等を引き起こす原因である地下漏水を早期に発見し、その対策を講じることが求められた。

③事業の内容

目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)

安全安心して利用できる水の安定供給を行うため、老朽化した水道管の早期修繕等によって、水道施設の保全と有収率の向上を目指す。

対象(誰を、何を対象としているのか)

対象数

単位

平成26年度

50,700

m

平成27年度

52,700

m

導・送・配水管及び給水管の延長

事業の具体的な内容及び実施方法

・水道管から漏水が発生した場合、早急に修繕を行い、その状況により布設替の検討も行う。

①布設替を必要としている給水管からの漏水の場合、配管状況や給水戸数、所有関係を調べる。(配水管等の場合は、水道建設課に相談する。)

②管の所有が個人の場合には、無償で所沢市に譲渡していただき、市所有の管とする。

③給水戸数に見合った口径の管に布設替する。(供給量が多い場合には75mm以上の配水管を布設する。)

・水道工事や接続申請の情報を管網管理システムに入力し、常に最新の情報(断水、濁水の範囲の特定、新規取出しの申請等)で管理を行う。

・漏水事故や火災発生時の濁水被害の軽減及び良質な水の確保を目指し、配水管の洗浄作業を行う。

④経費

＜会計種別＞

企業会計

平成26年度(千円)

平成27年度(千円)

平成28年度(千円)

予算現額

164,023

172,531

173,567

決算(見込み含む)

96,110

127,695

(非常勤特別職員)(臨時任用職員)

(人)

(人)

(人)

(人)

※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

正規職員人件費

23.55人

205,380

23.35人

202,211

事業費合計

301,490

329,906

財源内訳

一般財源

301,490

329,906

173,567

国・県支出金

その他

⑤実績

項目名

項目説明

単位

H26

H27

H28見込み

将来目標

活動実績

給水管布設替延長

単年度布設替実績延長

m

235.1

552.0

1,700.0

漏水調査

調査距離

m

0.0

0.0

0.0

管洗浄

管洗浄した管の延長

m

6,136.0

56,190.0

48,000.0

⑥成果

項目名

項目説明

単位

H26

H27

H28目標値

将来目標

成果指標

有収率

有収水量÷配水量×100

%

目標値

100

100

100

100

実績

97.45

97.14

☒ 「実績」拡大図る☐ 「実績」縮小図る

目標達成状況

どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています

%

達成率

97

97

↑どちらかをチェックしてください

⑦改善点

(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)

(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析

漏水件数が減少傾向であることで、漏水回数が2回以上発生した路線の布設替えを積極的に行った。また、管洗浄事業が進んできたことにより、火災等による濁水事故が減少して来た。

漏水件数は、前年度に対し、増減はあるが、長期的には減少傾向になっていることから、今後も高い有収率を維持していきたい。

⑧評価

☒ 継続

☐ 終了

事業実施方法(複数選択可)

☐ 拡大☐ 縮小☒ 改善・効率化☐ 現状維持☐ その他

理由

水道建設課で実施してる『導送配水管整備事業』と連携を取りながら効率よく継続的に実施する必要がある。

次年度予算

☐ 拡大☒ 縮小☐ 現状維持

理由

給水管の布設替については、布設替すべき管が減少しているため、それに係る予算については縮小させる。

(1)平成28年度に取り組んでいる状況

(2)今後の方向性

電食による地下漏水を予防するため、電食調査を実施する。

布設替を必要とする給水管は減少しているが、濁水被害の軽減や良質で安全安心な水の安定供給のため、管洗浄を中心に実施していく。

評価日

H28.7.22

評価者職氏名

給水管理課長 肥沼 宏至

⑨環境影響

有益な環境影響

有害な環境影響を及ぼす原因活動

布設替工事の実施

規制を受ける環境法令等

緊急事態

無

無